

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
H24年 6月 29日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 豊田市大林町1-81	
氏 名 トヨタすまいるライフ株式会社	
代表取締役 中尾益大	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0565-24-1295	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	トヨタすまいるライフ株式会社
事業場の所在地	豊田市大林町1丁目81番地
計画期間	H24.4.1~H25.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高:370億円
③従業員数	1390人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラ→再生処理業者へ委託してRPF化 ・ 木くず→再生処理業者へ委託してチップ化 ・ 石膏ボード→製造メーカーへ委託して再原料化・再生処理業者へ委託して路盤材・ダンボール原料へ再資源化 ・ 紙くず→再生処理業者へ委託して再減量化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 取締役 (産業廃棄物 監査責任者) 技術部 安全・CS・品質室長 (産業廃棄物対応責任者) 産廃G G長 (廃棄物管理担当者) 総務部—技術部—ライフサービス部 各事業現場 各現場責任者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (H23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	336.42 t	651.07 t
	(これまでに実施した取組) 廃プラは、①回収袋の充填率を上げる②廃固形プラ(シール材)と固形プラの分別を行い、中間処分場で選別・破碎処理後、RPF化施設での燃料化をする事に取り組んでいます。木くずについては、分別回収の徹底を図り中間処分場での荒破碎後、再資源化施設でのチップ化をして、燃料・原料として再利用することに取り組んでいます。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リフォーム工事から発生した産廃を6品目に分別して、混合廃棄を削減し、廃棄物が再生利用を行い易くする		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場：廃プラ・木くず・石膏ボード・紙くず・ガラス陶磁器くず・金属を種類毎に分別袋詰めを行っています。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) リフォーム現場：土嚢袋を使用して、廃プラ・木くず・紙屑・金属・石膏ボード・ガラス磁器くず・混合の6品目に分別		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】 別紙による		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	336.42 t	651.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	311.52 t	651.05 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>廃プラは、①回収袋の充填率を上げる②廃固形プラ（シール材）と固形プラの分別を行い、中間処分場で選別・破砕処理後、RPF化施設での燃料化をする事に取り組んでいます。木くずについては、分別回収の徹底を図り中間処分場での荒破砕後、再資源化施設でのチップ化をして、燃料・原料として再利用することに取り組んでいます。</p>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	302 t	585 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	278 t	585 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12 t	12 t
<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>廃プラ・木くずについて、認定熱業者以外の熱回収を行う最終業者で処理を行うように中間処分場と協議をして、熱回収を行えるようにします。</p>			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（H23年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	金属
全処理委託量	82.82 t	186.32 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	81.02 t	186.32 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
紙くず・金属共それぞれ分別保管を行い、中間処分業者をへてそれぞれ再生事業者で再生利用をしています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	金属
全処理委託量	75 t	167 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	75 t	167 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
紙くずについて、認定熱業者以外の熱回収を行う最終業者で処理を行うように中間処分場と協議をして、熱回収を行えるようにします。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	瓦礫類
	全処理委託量	3.40 t	238.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3.40 t	57.28 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 繊維くずについて、積替え保管施設での保管後、セメント原料になるように中間処分と協議して、リサイクル化を図っています。瓦礫については、特に無し。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	瓦礫類
	全処理委託量	3 t	214 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	417.55 t	185.82 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	355.84 t	129.26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 解体・リフォーム工事現場より発生したコンクリート・陶磁器くずについては、現場より直接再生事業者へ収運してRC・路盤材へ再生しています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	319 t	117 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	272 t	112 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（H23年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	新築系混合廃棄物
全処理委託量	91.46 t	152.02 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	84.69 t	133.28 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
 石膏ボードについては、新築現場より発生したものについて、製造メーカーへ返却処理をして、原料へリサイクルしています。新築系混合廃棄物について、廃プラスチック・木くず・金属・紙くず・可燃物・不燃物に小袋に分別して、中間処理場の選別工程の手間は少なくして、埋立処理をする廃棄物量の低減に努めています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	新築系混合廃棄物
全処理委託量	82 t	136 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	76 t	119 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
 特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	10.83 t	51.80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	7.61 t	35.54 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 安定型・管理型建設混合物については、中間処分場での選別・焼却工程を経てそれぞれ埋立処分を行っています。最終処分場へは、1回/年処分状況の視察を行っています。又、2次マニフェストの確認を中間処分場で行い、処分の確認を行っています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	9.7 t	47 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	6.81 t	32.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特に無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（H23年度）実績】

産業廃棄物の種類	解体系建設混合廃棄物	蛍光灯
全処理委託量	2.47 t	0.076 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0.13 t	0.076 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
 蛍光灯については、再生処理を行う処理会社と現地確認を行った上で、単発契約を結び再生処理を委託しました。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	解体系建設混合廃棄物	蛍光灯
全処理委託量	2 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0.5 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
 特に無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿（非飛散性）	
	全処理委託量	37.97 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
<p>（これまでに実施した取組） 現場より発生した石綿（非飛散性）については、積み替え保管経由又は、直接最終処分場へ持ち込み埋め立て処分を行っています。最終処分場へは、1回／年程度視察を行い、処分の確認を行っています。</p>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿（非飛散性）	
	全処理委託量	33 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
<p>（今後実施する予定の取組）</p>			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属
	排出量	82.82 t	186.32 t
	（これまでに実施した取組） 現場から発生する段ボール・紙くずについて、古紙回収業者に直接建築現場への引き取り依頼して、古紙の再生利用を行っています。 金属については、中間処分場後、金属リサイクル業者へ、有償売却をして、リサイクルを行っています。		
② 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属
	排出量	75 t	168 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類
	排出量	3.40 t	238.58 t
	（これまでに実施した取組） セメント製造メーカーで助燃材・廃畳を利用した、ペレット燃料として、サーマルリサイクルをしています。がれき類については、特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	瓦礫類
	排出量	3 t	214 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
④ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず
	排出量	417.55 t	185.82 t
	（これまでに実施した取組） 解体現場から発生するコンクリートについては、現場から直接でRC製造工場搬入してRCにリサイクルしています。解体・リフォーム現場から発生したガラス・陶磁器くずについて、中間処分場での破碎後路盤材へリサイクルしています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず
	排出量	375 t	167 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑤ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	新築系混合廃棄物
	排出量	91.46 t	152.02 t
	（これまでに実施した取組） 新築現場で発生した石膏ボードの端材について、製造メーカーに返却処理をして、原料にリサイクルしています。新築系混合廃棄物については、中間処分場での選別後、燃料・原料へリサイクルを行うことと、埋立・焼却をして最終処分を行っています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	新築系混合廃棄物
	排出量	81.9 t	137 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑥ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	排 出 量	10.83 t	51.80 t
	（これまでに実施した取組） 安定型建設混合廃棄物について、リフォーム工事から発生した産廃を6品目に分別して、混合廃棄を削減し、廃棄物が再生利用を行い易くします。解体系建設混合廃棄物については、特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	排 出 量	9 t	46 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑦ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	解体系建設混合廃棄物	蛍光灯
	排 出 量	2.47 t	0.076 t
	（これまでに実施した取組） 解体系建設混合廃棄物については、特になし 蛍光灯については、真鍮・ガラスくず・水銀に分けてリサイクルを行う専門のリサイクル業者によりリサイクル行いました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	解体系建設混合廃棄物	蛍光灯
	排 出 量	2 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑧ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿（非飛散性）	
	排 出 量	37.97 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿（非飛散性）	
	排 出 量	33 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑨ 現状	【前年度（H23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		